

## 奄美群島振興交付金事業計画(R1)の実績に関する評価(総括)

### 1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数	達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	【参考】 達成+ おおむね達成
		6 (5%)	3 (2%)	4 (3%)	115 (90%)	
71	128 (100%)	6 (5%)	3 (2%)	4 (3%)	115 (90%)	9 (7%)

※ 「達成」…達成度100%以上, 「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満, 「未達成」…達成度70%未満

### 2 評価結果

【達成度の判定】 ○(達成):100%以上, △(おおむね達成):70%以上100%未満, ×(未達成):70%未満

1	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き除く) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き) ③奄美地域における製造品出荷額				
	奄美群島農林水産物 等輸送コスト支援事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度	/	/
			値(①)	55,436 t	55,481 t	t	-	-
			値(②)	56,156 千本	56,156 千本	千本	-	-
	値(③)	20,312 百万円	21,531 百万円	百万円	-	-		
事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】農林水産物等の輸送コストの支援により, 共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し, 出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。※アウトカム指標の実績(令和元年度)については集計中。					
事業主体	市町村	今後の取組方針	令和元年度からこれまでの農林水産物の輸送支援に加え, 加工品の輸送と移出する農林水産物の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされた。 今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され, 生産基盤の強化が図られるよう, 市町村等との連携を強化する。					
2	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数				
	奄美群島航空運賃軽 減事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度	/	/
			値	611 千人	677 千人	千人	-	-
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】新型コロナウイルスの影響もあり, 対象路線における利用者数は対前年度で減少(577千人・対前年度93.8%)となったが, 引き続き, 多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
事業主体	奄美群島航空・航路 運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き, 地元市町村や事業者と連携し, 本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
3	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)				
	奄美群島航路運賃軽 減事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度	/	/
			値	136 千人	136 千人	千人	-	-
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】引き続き, 多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少(125千人)となっている。)				
事業主体	奄美群島航空・航路 運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き, 地元市町村や事業者と連携し, 本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					

4	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
	奄美群島交流需要喚起対策特別事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①航空)	381 千人	422 千人	千人		—
	事業実施年度		R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】新型コロナウイルスの影響や、航空路では事業者の経営統合に伴い対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で減少(航空:327千人・対前年度83%, 航路:109千人・対前年度88%)となったが、通年で436千人の交流が図られた。			
事業主体	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。						
5	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
	奄美・沖縄連携交流促進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①航空)	54 千人	60 千人	千人		—
	事業実施年度		R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】新型コロナウイルスの影響もあり、航路においては対象路線における利用者数は対前年度で減少(航空:74千人・対前年度104%, 航路:59千人・対前年度90%)となったが、計133千人の両地域の交流が図られた。			
事業主体	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						
6	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①葉にんにくの生産性向上(単収増加) ②島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③奄美プラム(カリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)				
	農業創出緊急支援推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	710 kg/10a	810 kg/10a	kg/10a		—
			値(②)	700 kg/10a	700 kg/10a	kg/10a		—
事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】 ・葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖及び奄美プラム新系統の早期育成方法試験用の苗木植栽・各種調査、高品質果実生産技術検討のためのほ場選定等を行った。 令和元年度については、アウトカム指標の実績となる数値なし。					
事業主体			今後の取組方針	葉にんにくについては、R2年度まで圃場にて増殖を行い、R3年度に現地供給。 島らっきょうについては、R2年度に優良系統の選抜、R3年度にウイルスフリー化、R4年度に圃場にて増殖を行い、R5年度に現地供給。 奄美プラムについては、R3年度まで各種試験・調査を行い、R5年度に暖冬対策を含んだマニュアルを完成させ、生産者等に配布。				
7	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	屋久島寄港便の利用人数				
	海洋世界遺産ロード構築事業(世界遺産「奄美・沖縄－屋久島」を結ぶ航路支援事業)		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	600 人	1,200 人	人		—
	事業実施年度		R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】支援の実施により、運航事業者は当初「乗船予約20名以上」としていた寄港条件を「1名以上」に引き下げ、寄港回数が増加につながっている。			
事業主体	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、屋久島寄港の安定的な継続と奄美・屋久島両地域の周遊性向上を図る。 R2年度終了見込み。						

8	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	宿泊観光客数					
	奄美パーク展示等リ ニューアル事業	R 1 ~ R 3	鹿児島県	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 年度			
				値	775 千人	810 千人	千人		—	
	事業実施年度	評価	【R元年度】現在、奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。							
事業主体	今後の取組方針	今後の世界自然遺産登録に向け、着実に事業の推進を図る。								
9	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ハブ咬傷者数					
	ハブ対策事業(ハブ駆 除対策事業)	R 1 ~ R 3	鹿児島県	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	H19~H28の平均	令和 元 年度	令和 元 年度			
				値	55.7 人	55 人以下	44 人	達成	○	
	事業実施年度	評価	【R元年度】咬傷者数は44人で、目標を達成した。							
事業主体	今後の取組方針	ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。								
10	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数					
	ハブ対策事業(ハブ咬 症対策事業)	R 1 ~ R 3	鹿児島県	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 26 年度	令和 元 年度	令和 元 年度			
				値	1 人	0 人	0 人	達成	○	
	事業実施年度	評価	【R元年度】ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。							
事業主体	今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。								
11	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①世界自然遺産登録数 ②奄美群島認定エコツアーガイド数					
	世界自然遺産「奄美」 保全・活用事業	R 1 ~ R 3	鹿児島県	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度			
				値(①)	0 か所	1 か所	人		—	
	事業実施年度	評価	【R元年度】世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルのルート選定・開通イベント、世界自然遺産登録の気運醸成を図るためのシンポジウム、IUCNの現地調査対応等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。							
事業主体	今後の取組方針	引き続き、奄美の世界自然遺産登録の実現及びその後の適切な保全・管理に向けて、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。								
12	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数					
	奄美自然観察の森整 備事業	R 1 ~ R 3	龍郷町	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度			
				値	15,686 人	17,000 人	19,041 人	112.0%	○	
	事業実施年度	評価	【R元年度】ボードウォークの改修、展望デッキ撤去・新設、トイレの新設、パノラマトリデの補修、園路整備、バス駐車場の整備等を実施した。(前年度繰越予算) 整備工事は、途中であるものの、世界自然遺産の登録の気運が高まってきており、気軽に奄美の森を体験できる施設として、利用者数が増加し中間目標値を達成した。							
事業主体	今後の取組方針	引き続き、令和3年度の完成を目指してリニューアル工事を実施する。								
13	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額					
	水産資源利用開発調 査	R 1 ~ R 5	鹿児島県	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度			
				値	10,170 百万円	10,329 百万円	百万円		—	
	事業実施年度	評価	【R元年度】※統計数値が示されていないため達成度未定							
事業主体	今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。								

14	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
	農業創出緊急支援事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	36,942 百万円	39,052 百万円	百万円		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】※統計数値が示されていないため達成度未定				
事業主体	市町村	今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。					
15	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	与論町の生産牛飼育頭数の増加				
	奄美群島流通効率化事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	5,422 頭	5,450 頭	頭		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の生産牛飼育頭数は5,520頭であり、中間目標値を上回った。				
事業主体	与論町	今後の取組方針	畜産農家数が減少傾向にあり、それに伴う飼養頭数の減少が懸念されるが、貨物船による安定した飼料供給を続け、飼養頭数の維持拡大を図る。					
16	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①情報通信産業雇用者数 ②先進技術習得事業での研修受講者数 ③島外スキルアップ事業での研修受講者数				
	ICT先進技術習得事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	760 人	776 人	人		—
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	値(②)	0 人	180 人	人		—
事業主体	市町村	値(③)	0 人	6 人	人		—	
事業主体	市町村	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の情報通信産業雇用者数は748人であった。 情報通信に携わる者に対して、ICTに関連した先進的な技術やサービスの活用方法を自発的に習得するための支援を行い、既存企業の雇用人数増加やフリーランスの事業主化の支援を推進する。					
17	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	生産年齢人口の中でも若年層(20~44歳)の人口				
	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	23,626 人	21,438 人	人		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】令和元年度の若年層(20~44歳)人口は21,410人であった。				
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ収束等を見据えた取組を検討していく。					
18	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
	奄美群島チャレンジ人材育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	0 件	15 件	件		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 3	評価	【R元年度】令和元年度の新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数は7件であった。				
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	今後はクラウドファンディングサイトの本格的な実用に加え、奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。					
19	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
	人材育成成果発表会	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	0 件	15 件	件		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】令和元年度の新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数は7件であった。				
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。					

20	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①奄美群島認定エコツアーガイド数 ②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数 ③「奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者の2019～23年度累計件数						
	育成人材フォローアップ事業	事業実施年度	R 1	事業主体	今後の取組方針	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
						年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
						値(①)	85 件	115 件	件		—
						値(②)	107 件	153 件	件		—
値(③)	0 件	15 件	件		—						
評価	【R元年度】令和元年度の①奄美群島認定エコツアーガイド数は109人、②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数は129人、③新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者数は7件であった。										
事業主体	令和元年度で本事業は終了となるが、本事業で実施していたSNSプロモーションを拡充し、令和2年度以降は、戦略的情報発信支援事業として、情報発信に特化した事業展開を図っていく。										
奄美群島広域事務組合											
21	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数						
	奄美群島観光物産広域連携事業	事業実施年度	R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
						年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
						値	343,741 人	359,780 人	人		—
						評価	【R元年度】令和元年度の奄美群島への入込客数の内、観光客数は391,969人であり、中間目標値を上回った。				
事業主体	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。										
奄美群島広域事務組合											
22	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数						
	滞在型・着地型観光推進事業	事業実施年度	R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
						年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 年度		
						値	343,741 人	35,970 人	人		—
						評価	【R元年度】令和元年度の奄美群島への入込客数の内、観光客数は391,969人であり、中間目標値を上回った。				
事業主体	令和2年度中に、群島内バス路線等の情報整備する。										
奄美群島広域事務組合											
23	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数						
	UIOターン支援体制構築事業	事業実施年度	R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
						年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
						値	0 人	25 人	人		—
						評価	【R元年度】令和元年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数は9人であった。				
事業主体	更なる移住者・交流人口増加のため、移住・交流フェアなどの交流会への参加やネットワークを利用したオンライン相談会など、社会情勢も考慮した方法で奄美群島の周知のために力を入れていきたい。										
奄美群島広域事務組合											
24	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数						
	奄美群島エコツーリズム推進事業	事業実施年度	R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
						年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
						値	85 人	115 人	人		—
						評価	【R元年度】令和元年度現在の奄美群島認定エコツアーガイド数は109人であった。				
事業主体	世界自然遺産登録を見据え、エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図るとともに、自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し、人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。										
奄美群島広域事務組合											

25	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
	奄美群島地域通訳案内士育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	107 人	153 人	人		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度現在の奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数は129人であった。				
R 1 ~ R 5								
事業主体	今後の取組方針	今後も世界自然遺産登録を見据え、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。						
奄美群島広域事務組合								
26	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
	観光拠点連携整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 29 年	令和 2 年	令和 年		
			値	825,791 人	887,895 人	人		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の奄美群島全体における入込客数は891,351人であり、中間目標値を上回った。				
R 1 ~ R 5								
事業主体	今後の取組方針	今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。						
市町村								
27	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数				
	あやまる岬エリア整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	116,217 人	118,000 人	人		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のあやまる岬観光公園来園者数は118,475人であり、中間目標値を上回った。				
R 1 ~ R 3								
事業主体	今後の取組方針	令和3年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。Wi-Fi設置(H30市単独)等利用者へのサービス拡充を行っていく。						
奄美市								
28	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	内海周辺エリア全体の施設利用者数				
	内海公園自由広場整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	11,304 人	13,000 人	人		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の内海周辺エリア全体の施設利用者数は12,000人であった。				
R 1								
事業主体	今後の取組方針	R2年度7月完成。今後は、当該地区の観光拠点としての活用を推進していく。						
奄美市								
29	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	マングローブパークの利用者数				
	マングローブパーク駐車場整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	39,358 人	45,000 人	人		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のマングローブパークの利用者数は40,000人であった。				
R 1								
事業主体	今後の取組方針	R2年度8月契約。R2年度末完成予定。						
奄美市								
30	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	大浜海浜公園利用者数				
	大浜海浜公園整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	令和 元 年度		
			値	68,727 人	70,000 人	59,801 人	85.4%	△
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の大浜海浜公園利用者数は59,801人であった。				
R 1								
事業主体	今後の取組方針	平成26年度予算から実施している観光拠点連携整備事業・奄美の魅力満喫「海エリア」整備事業により、大浜海浜公園の全体的な魅力向上に取り組むことができた。現在取り組んでいる海洋展示館リニューアル整備事業とも連携して、地元客・観光客にとって魅力ある観光地づくりに引き続き取り組む。						
奄美市								

31	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美博物館1日あたりの入館者数				
	奄美博物館リニューアル事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 元 年度		
			値	25.6 人	37.0 人	60.0 人	162.2%	○
	事業実施年度		R 1	評価	【R元年度】展示リニューアル及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4か月の臨時休館があったものの、目標を大幅に上回る入館者を記録した。			
事業主体	今後の取組方針							
奄美市		世界自然遺産に関する展示の一部リニューアルや奄美大島の自然・歴史・文化に関する企画展等を実施するとともに、講演会・講座等のイベントを行い、引き続き入館者の増加を目指す。						
32	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数				
	まほろば水と森公園整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度		
			値	11,000 人	15,000 人	10,484 人	69.9%	×
	事業実施年度		R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】書き入れ時の夏場にLCC航空会社の奄美路線の停止期間があり、客足が伸び悩んだ。			
事業主体	今後の取組方針							
大和村		同公園内に建設予定のアミノクロウサギ飼育展示施設と併せて、大和村の一大観光拠点となるのを目標に、引き続き世界遺産登録も見据えた計画的な整備を行う。						
33	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数				
	アミノクロウサギ飼育展示施設整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度		
			値	11,000 人	15,000 人	10,484 人	69.9%	×
	事業実施年度		R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】施設整備の目的について文化庁、環境省と事前協議を行い、整備についておおむね了承を得た。また、クロウサギについての有識者会議を開催し基本方針について検討した。			
事業主体	今後の取組方針							
大和村		令和元年度に引き続き令和2年度も有識者会議を開催し、基本計画を策定する。またそれに基づき実施設計、展示設計を行い施設整備に入る。併せて、法律の許可申請についても、関係省庁と引き続き協議しながら進めていく。						
34	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	国直集落における交流人口(体験事業による年間受入人数)				
	国直うみがめ公園整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	400 人	1,200 人	人		—
	事業実施年度		R 1	評価	【R元年度】令和元年度の国直集落における交流人口(体験事業による年間受入人数)は1,010人であった。			
事業主体	今後の取組方針							
大和村		「国直ウミガメ公園」を継続的に整備することにより、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境をつくることで、家族連れの観光客等への誘客促進を図っていく。						
35	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美フォレストポリスへの入込客数				
	奄美フォレストポリス再整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値	18,629 人	25,000 人	人		—
	事業実施年度		R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の奄美フォレストポリスへの入込客数は14,711人であった。			
事業主体	今後の取組方針							
大和村		引き続き世界自然遺産登録も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。						
36	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数				
	湯湾岳周辺整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	5,605 人	6,000 人	人		—
	事業実施年度		R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の湯湾岳公園への年間来訪者数は6,757人であり、中間目標値を上回った。			
事業主体	今後の取組方針							
宇検村		令和2年度事業において、繰越を含めすべての関連施設整備を完了予定である。完了後、速やかに情報発信等を行い、更なる観光客の増加へつなげたい。						
37	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	加計呂麻島を訪れる観光客数				
	加計呂麻芝集落海水浴場トイレ・シャワー施設整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	47,971 人	57,132 人	人		—
	事業実施年度		R 1	評価	【R元年度】令和元年度の加計呂麻島を訪れた観光客数は46,736人であった。			
事業主体	今後の取組方針							
瀬戸内町		令和2年度への繰越事業となっており、早期完成と観光客受入増加を目指す。						

38	龍郷町集落観光案内板整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	閑散期(2月)の龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数				
	区分		基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
	年度		平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度			
	事業実施年度	R 1	値	54 か所	70 か所	か所	—	
	事業主体		龍郷町	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の閑散期(2月)の龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数は114か所であり、中間目標値を上回った。 集落観光案内看板と集落ガイドブックを連携・活用して、観光客への情報案内ツールとして町内周遊を加速させる。			
39	なごみの岬公園休憩施設整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	団体利用希望者の申請件数				
	区分		基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
	年度		平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
	事業実施年度	R 1	値	0 件	35 件	件	—	
	事業主体		徳之島町	今後の取組方針	東屋・手洗い場・展望デッキ等の整備を行っていく。			
40	大和城観光地連携整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
	区分		基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
	年度		平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度			
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	値	128,000 人	130,000 人	人	—	
	事業主体		天城町	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の徳之島への入込客数は142,734人であり、中間目標値を上回った。 今後の入込客数の更なる増加につながるよう環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに世界自然遺産登録を見据えた環境と自然に配慮した事業推進を行う。			
41	知名町交流拠点創出事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①地元住民と会話した回数 ②今回の目的が終わった後も関係を持ちたい出会いがあった割合				
	区分		基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
	年(暦年)		平成 29 年	令和 元 年	令和 元 年			
	事業実施年度	R 1	値(①)	0 回	5 回	3 回	60.0%	×
	事業主体		知名町	今後の取組方針	値(②) 0 % 5 % 46 % 920.0% 【R元年度】住民と会話ができる場(機会)の創出が必要である。ただ、出会いによって今後の関係を持つ意欲になっていることは評価できる。 地元住民と観光客との交流の場(機会)としては、まだ仕掛けが足りていない。整備したイナミズゴ-きゅらさん公園を拠点とした仕掛けづくりとして、観光農園や案内看板、商店街との連携などに取り組んでいく。			
42	与論町大金久海岸環境整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島への入込客数				
	区分		基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
	年(暦年)		平成 29 年	令和 3 年	令和 年			
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	値	72,000 人	80,000 人	人	—	
	事業主体		与論町	今後の取組方針	【R元年度】令和元年の与論島への入込客数は69,332人であった。 引き続き、既設遊歩道の改修を進めながら周辺の植栽整備を進める。			
43	観光拠点連携情報発信事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
	区分		基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
	年度		平成 27 年度	令和 元 年度	令和 元 年度			
	事業実施年度	R 1 ~ R 2	値	60 %	64 %	59 %	92.2%	△
	事業主体		あまみ大島観光物産連盟	今後の取組方針	【R元年度】満足度調査の項目で、「交通:二次交通や特産品:お土産」への不満意見が多く、離島がゆえに全体の目標達成に至っていない。 満足度調査の項目(宿泊・食事・お土産・交通・観光施設・自然景観・ホスピタリティ)ごとに、分析、合同専門委員会をとって情報の共有を図り改善に取り組む。			

番号	事業名		アウトカム指標	①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を生かした旅行商品造成数				
44	奄美らしい観光スタイル構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度(①)	平成 27 年度	令和 元 年度	令和 元 年度		
			値(①)	60 %	64 %	59 %	92.2%	△
			年度(②)	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 年度		
	事業実施年度	評価	値(②)	0 件	2 件	件		—
	R 1 ~ R 3		【R元年度】キャッシュレス対応や二次交通パンフレットなど課題とされていた受け入れ態勢に取り組んだところである。アンケート調査による奄美観光への大変満足と回答した割合は59%であり、目標には到達していないが、引き続きアンケート等から把握する奄美の魅力を活かし、課題の克服に取り組むべきである。					
事業主体	今後の取組方針		令和元年度末からコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録にも注視しながら、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。					
奄美市								
番号	事業名		アウトカム指標	①体験事業による受入人数 ②奄美らしい観光プログラム数				
45	大和村集落まるごと体験事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 元 年度	令和 元 年度		
			値(①)	320 人	384 人	1,010 人	263.0%	○
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
	事業実施年度	評価	値(②)	70 件	85 件	件		—
	R 1 ~ R 2		【R元年度】大和村観光メニューの創出や事業者の育成・確保、誘客効果をもたらすイベント開催が定着しつつあり、良好な流れが生まれている。					
事業主体	今後の取組方針		これまででは事業者を育成・確保するためのセミナー等の研修メニューが中心であったが、R3以降は、「観光外貨獲得」に向けたメニューを中心に取り組む。					
大和村								
番号	事業名		アウトカム指標	①瀬戸内町への年間入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
46	瀬戸内町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値(①)	131,376 人	140,000 人	人		—
			値(②)	0 人	600 人	人		—
	事業実施年度	評価	値(③)	0 件	2 件	件		—
	R 1 ~ R 3		【R元年度】令和元年の瀬戸内町への入込客数は150,081人であり、中間目標値を上回った。昨年度は前年度比500名程度の伸びであったが、本事業を行った今年度は6,000人の伸びとなった。					
事業主体	今後の取組方針		計画通り来年度まで制度を実施し、アンケート結果から新商品の開発・ブラッシュアップを行う事で、瀬戸内町らしい体験やサービスを提供し、新たな観光スタイル構築へつなげていく。					
瀬戸内町								
番号	事業名		アウトカム指標	①秋名幾里地区への年間延べ宿泊者数 ②秋名幾里地区における体験プログラムの延べ参加者数				
47	環境文化型体験・交流事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	0 人	400 人	人		—
			値(②)	0 人	200 人	人		—
	事業実施年度	評価	【R元年度】令和元年度の秋名幾里地区への年間延べ宿泊者数は374人であった。					
	R 1 ~ R 2		今後の取組方針		民泊窓口の機能強化と民泊事業の横展開(新規参入家屋の改修と民泊事業者の人材育成)を図り、近隣施設等との連携強化も推し進める。			
事業主体								
龍郷町								

番号	事業名		アウトカム指標	①喜界島への年間入込客数 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
48	喜界町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	53,306 人	65,000 人	人		—
			値(②)	30 人	200 人	人		—
	値(③)	19 件	22 件	件		—		
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の喜界島への年間入込客数は59,634人であった。				
	R 1 ~ R 3							
	事業主体		今後の取組方針	令和元年度は制度の構築に時間を要し、体験メニュー利用券の配布が観光客の増える夏場に間に合わなかった。令和2年度以降は観光物産協会と連携を図り、利用券の購入者を増やし来訪者の満足度向上を図りたい。				
	喜界町							
番号	事業名		アウトカム指標	①沖永良部島への入込客数 ②遺産めぐりツアーガイドの育成数				
49	知名町遺産めぐりツアー事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	89,045 人	100,000 人	人		—
			値(②)	0 人	3 人	人		—
		事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の①沖永良部島への入込客数は87,719人、②遺産めぐりツアーガイドの育成数は1人であった。			
	R 1							
	事業主体		今後の取組方針	対象集落を拡大してガイドツアーを展開する。あわせて、より良質なガイド商品化・ガイドのスキルアップを目指す。				
	知名町							
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
50	ヨロン戦略的交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	72,000 人	80,000 人	人		—
			値(②)	9,000 人	10,000 人	人		—
	値(③)	0 件	5 件	件		—		
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の与論島への入込客数は69,332人であった。				
	R 1 ~ R 3							
	事業主体		今後の取組方針	関係自治体とも連携しながら沖縄島北部地域と連携した広域観光ルートの構築を図りつつ、奄美大島や徳之島地域からの島づたいの誘客を図るため、当該地域にも地域商品券の設置やPRを行っていく。				
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
51	ヨロン島来訪機会創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	72,000 人	80,000 人	人		—
			値(②)	9,000 人	10,000 人	人		—
	値(③)	0 件	5 件	件		—		
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の与論島への入込客数は69,332人であった。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体		今後の取組方針	YouTubeによるデジタルマーケティングを分析した結果、実際に与論でどういった体験ができるか等といった部分が動画で表現できておらず、与論旅行を想起させるには至らなかったため、次年度にて体験等をメインとした動画制作・配信を行って不足部分を補っていきたい。				
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	プログラムコースメニュー開発数				
52	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	0 件	5 件	件		—
		事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のプログラムコースメニュー開発数は1件であった。			
	R 1 ~ R 2							
	事業主体		今後の取組方針	ウェルネスプログラム実施のための人材育成を行うとともに、「頑張る女性」をメインターゲットとした各客層を対象にモニターツアーを行い、ウェルネス体験メニューを磨き上げ商品を造成する。同時に、体験のイメージ写真や動画を収集し、商品造成後のプロモーション活動に備える。				
	与論町							

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	井之川集落(シマ)まるごと体験プログラムへの参加者数				
53	シマまるごと味わいプロジェクト～シマ×民泊×ラボ～	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度		
			値	0 件	10 件	0 件	0.0%	×
			事業実施年度	【R元年度】民泊施設の改修が、令和元年度へ繰越したため体験プログラムを実施できなかった。				
R 1	事業主体	今後の取組方針	民泊サービスの営業許可手続や民泊施設を拠点とした体験型観光プログラムやシマ歩き等を実施していく。					
	徳之島町							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①ジオガイドの育成数 ②講演会の受講者数 ③ジオツアーへの島外からの参加者数				
54	世界ジオパーク認定に向けた奄美群島連携事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	0 人	21 人	人		—
			値(②)	0 人	270 人	人		—
	事業実施年度	値(③)	3 人	5 人	人		—	
R 1 ~ R 2	事業主体	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の①ジオガイドの育成数は7人、②講演会の受講者数は65人であった。					
	喜界町		ジオガイドの育成に等たり、まずは興味を持ってもらうことが大切だと考えているため、今後もサンゴ礁科学研究所と連携し、「機運の醸成」を目的とした講演会やジオサイトへの看板設置などに取り組んでいきたい。					
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①郷土教育学習の開催回数 ②喜界島への年間入込客数 ③喜界馬を活用したプログラム数 ④プログラム参加者数				
55	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度(①)	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	1 回	3 回	回		—
			年度(②)	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(②)	53,306 人	65,000 人	人		—
			年度(③④)	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
	事業実施年度	値(③)	0 件	1 件	件		—	
R 1 ~ R 2	事業主体	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の①郷土教育学習の開催回数は1回、②喜界島への年間入込客数は59,634人であった。					
	喜界町		2頭目の帰郷を実現させ、喜界馬を活用した観光振興に取り組むと共に、島に住む子ども達の郷土教育学習を今後も実施する。					
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
56	北山文化圏ロード構築事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	14,288 人	15,710 人	人		—
			事業実施年度	【R元年度】令和元年度の沖縄県から和泊町への入込客数は23,480人であり、最終目標値を上回った。				
R 1 ~ R 3	事業主体	今後の取組方針	航空路を利用した入込拡大(主に南部)を目指すとともに、航路を利用した入込拡大(主に北部:本部港から)を図るため、沖永良部島の歴史・文化やアクティビティ等の特色あるプログラムのPRや沖縄県北部(特につながりのある今帰仁村)との連携・交流を図り、更なる交流人口の拡大を目指す。					
	和泊町							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数				
57	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	72,000 人	80,000 人	人		—
			値(②)	9,000 人	10,000 人	人		—
R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の与論島への入込客数は69,332人であった。					
	与論町		国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。					

番号	事業名		アウトカム指標	①スポーツ教室・講演会の参加者数 ②スポーツ合宿受入延べ人数 ③新規合宿団体受入数				
58	徳之島スポーツアイランド推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	350 人	400 人	人		—
			値(②)	1,800 人	2,000 人	人		—
	値(③)	0 団体	1 団体	団体		—		
事業実施年度	R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の①スポーツ教室・講演会の参加者数は303人、②スポーツ合宿受入延べ人数は1,780人であった。					
事業主体	徳之島町	今後の取組方針	合宿地としての定着化と新規団体の獲得を目指し、民間事業者による誘致活動の活発化や受入体制の構築を目指さなければならない。各種セミナー等への参加や意見交換等、連携の強化に努める。					
番号	事業名		アウトカム指標	①合宿受入延べ人数 ②合宿受入団体数 ③新規団体の受入数				
59	合宿日本一の"島"推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	6,800 人	7,000 人	人		—
			値(②)	40 団体	42 団体	団体		—
	値(③)	3 団体	3 団体	団体		—		
事業実施年度	R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の①合宿受入延べ人数は7,043人、②合宿受入団体数は46団体であり、中間目標値を上回った。					
事業主体	天城町	今後の取組方針	誘致活動や広報・PRを積極的に行い合宿受入の増加を図るとともに新規種目の合宿誘致のために受入態勢の強化・環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め、スポーツを通じた産業振興を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	①スポーツ指導者の育成数 ②スポーツ振興による新たな雇用創出数				
60	小さな島でもでっかいスポーツ環境創出プロジェクト事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値(①)	0 人	2 人	人		—
			値(②)	0 人	2 人	人		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 2	評価	【R元年度】令和元年度の①スポーツ指導者の育成数は1人、②スポーツ振興による新たな雇用創出数は0人であった。				
事業主体	知名町	今後の取組方針	事業終了後の自立を目指し、独自で講習会や運動教室等を行えるように人材育成や雇用の創出を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	①ICT活用校数 ②全国学力・学習状況調査における主要2科目の平均通過率の平均				
61	徳之島型モデルICT活用教育推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	3 校	4 校	校		—
			値(②)	▲ 5.5 %	0 %	%		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 3	評価	【R元年度】令和元年度の①ICT活用校数は3校であった。				
事業主体	徳之島町	今後の取組方針	町内北部3小学校及び手々小中学校を追加した4校で遠隔事業の実施。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数				
62	奄美らしい離島留学推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	27 人	40 人	人		—
			評価	【R元年度】令和元年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は68人であり、中間目標値を上回った。				
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。				
事業主体	市町村							
番号	事業名		アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
63	防災関連施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	58 %	100 %	%		—
			値(②)	114 か所	62 か所	か所		—
	事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R元年度】令和元年度の①防災行政無線の整備率は99%、②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数は142か所であった。				
事業主体	市町村	今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。					

64	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
	ネコ対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	1,539 件	1,300 件	件		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のネコの不妊手術件数は1,256件であった。				
R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。					
	市町村							
65	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	パトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げ				
	奄美大島希少野生動物保護事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	1,000 種	1,000 種	種		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のパトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げは3,083種であった。				
R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動物の保護に努める。					
	奄美大島自然保護協議会							
66	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数				
	ヤギ被害防除対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	217 頭	205 頭	頭		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度のノヤギの捕獲頭数は265頭であった。				
R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。					
	市町村							
67	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記))と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数の減少 ③サンゴ礁被度がH28※比で新たに60%以上となる箇所数の増加				
	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	88 か所	106 か所以上	か所		—
	事業実施年度		値(②)	42 か所	27 か所以下	か所		—
R 1 ~ R 5	値(③)	31 か所	54 か所以上	か所		—		
	事業主体	今後の取組方針	【R元年度】令和元年度の実績はそれぞれ①58か所、②15か所、③19か所であった。 モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。					
	市町村及び奄美群島サンゴ礁保全対策協議会							
68	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
	奄美群島水産物流通支援事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	580 トン	616 トン	トン		—
	事業実施年度		評価	【R元年度】令和元年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,078トンであり、中間目標値を上回った。				
R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。					
	市町村							
69	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間				
	災害時医療体制強化事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度		
			値(①)	12 km	0.03 km			—
	事業実施年度		値(②)	20 分	1 分			—
R 1	事業主体	今後の取組方針	【R元年度】繰り越して令和2年に契約、着工。2年度未完了予定。 令和2年に契約、着工。2年度未完了予定。					
	奄美市							

番号	事業名	アウトカム指標	ハザードマップが配布周知されている世帯数の割合					
70	ハザードマップ更新事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
		年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 年度			
		値	70 %	100 %			—	
	事業実施年度	評価	【R元年度】令和2年度に繰越で実施予定					
	R 1	事業主体	今後の取組方針	令和2年度に繰越で実施予定。早期のハザードマップ作成配布を目指す。				
	奄美市							
番号	事業名	アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額生産額					
71	水産業活力向上プロジェクト事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
		年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 年度			
		値	10,170 百万円	10,329 百万円	百万円		—	
	事業実施年度	評価	【R元年度】※統計数値が示されていないため達成度未定					
	R 1 ~ R 5	事業主体	今後の取組方針	シラヒゲウニの放流と併せて、奄美大島での種苗生産実証試験を行い、地元での種苗生産、放流体制を確立するとともに、安定供給が可能な養殖について検討を進める。 ヤコウガイについては資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。				
	奄美群島水産振興協議会, 市町村							